

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部法律経済学科
学年(出発時)	2年
大学名	セントラルランカシャー大学
国	英国
留学期間	2023年9月20日～2024年1月20日（4か月）
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	起床
9:00	授業(study overseas programme)
10:00	授業(study overseas programme)
11:00	授業(study overseas programme)
12:00	昼食
13:00	授業(English and EU Legal Systems)
14:00	授業(English and EU Legal Systems)
15:00	
16:00	自由時間
17:00	友人と合流
18:00	夕食
19:00	友人と過ごす
20:00	パブに行く
21:00	
22:00	帰宅
23:00	就寝
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Study Overseas Programme	15時間		英語	アカデミックライティングの書き方
				イギリスの文化、歴史
				英語4技能、テスト対策
				最終課題:エッセイ、プレゼンテーション
English and EU Legal Systems	4時間		英語	イギリスやEU諸国の法律、政治システム

大学のサポート	
チューターの有無	なし
チューターのサポート内容	なし
語学コースの有無	無料の英語クラスに参加可能
コース名、料金、期間等	

生活	
住居のタイプ	大学管轄の学生寮
住居の名前	Ribble Hall
部屋タイプ	1つのフラットを6人で利用、個室あり
ルームメイト(国籍)	イギリス(3人)、ドイツ(1人)、インド(1人)
室内設備	ベッド、学習机、洗面台、タンス、クローゼット
共用施設	トイレ、シャワー、キッチン
インターネット設備	大学のwifiに接続可能
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩(3～10分)
アルバイトの有無	なし
アルバイトの内容	なし

渡航	
Visaの種類	6か月未満なのでvisaなし
Visa申請先	
Visa取得にかかった日数	
Visa取得にかかった費用	0円
Visa取得方法、提出書類等	visaなしでパスポートと入学書類等のみで入国可能
留学先大学の最寄り空港までの経路	電車で1時間
渡航費用	約34万円
ピックアップサービスの有無	大学のピックアップ用バスを利用

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	なし
有る場合、その理由	
就職活動開始時期	翌年度
帰国後の進路	未定

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1ポンド＝約185円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	約10万円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	0円
宿舍費(月額)	約356ポンド(65,000円)
光熱費(月額)	宿舍代に含まれる
食費(月額)	約3万円
その他	交際費、旅行費用(月約5万円)
留学期間中にかかった費用の合計	約100万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

はじめにStudy Overseas Programmeの授業についてです。授業は週5で毎日3時間ずつあり、私のクラスは月水金が午前、火木が午後の授業でした。コースが2つのクラスに分かれており、1クラス当たり15～20人ほどでした。授業の内容は、英語でのレポートの書き方やイギリスの文化についての授業が中心でした。もちろん、英語4技能を伸ばすための授業もありますが、どちらかというとアカデミックな英語を習得するためのクラスのように感じました。また、授業の先生方は自分たちが英語を学んでいる途中だということを理解してくれているので、分かりやすい英語で話し、自分たちの言いたいことが英語でうまく言えていなくてもくみ取ってくれました。そのため、あまり気負いせずに授業に参加することができました。課題も1200字のエッセイとプレゼンテーションのみで、基本は宿題も出ませんでした。

次に選択したEnglish and EU Law Systemsの授業についてです。この授業は正直とても難しかったと感じました。まず、授業が完全にネイティブ向けの英語で行われることから、全ての情報を聞き取ることができませんでした。また、今まで学習してこなかった法律や政治に関する専門的な単語が多く、授業中や復習中に辞書で調べながらの勉強でした。しかし、内容としては基本事項であったため、単語を調べ、復習をすれば理解することができました。そしてこの授業は、講義形式とグループワーク形式の2つの授業があり、後者の授業では質問に答えたり、他の人と答えを考えたりする必要があったので苦労しました。幸いにも、選択の授業は、出席するだけで課題やテストは行わなくてよいものでした。

次に生活についてです。セントラルランカシャー大学はキャンパスと町が一体となっているので、生活について不便さは感じませんでした。食料品はALDIまたはTESCOで買うことができ、その他の生活必需品もいくつかのお店で買うことができます。また、プレストン駅やバス停も近くにあるため、イギリス内の旅行にも行きやすかったです。

最後に自由時間についてです。正直なところ、Study Overseas Programmeは日本人の学生が多かったため授業だけでは英語が伸びないと感じ、授業以外の時間を大事にし、外国人の友人と過ごすようにしました。授業が始まる前の週に、留学生や新入生に向けたイベントがたくさん行われており、それに参加して外国人の友達を作りました。その友人たちとは、ビリヤードをしたり、ご飯を食べに行ったり、パブに行ったりして遊ぶことが多かったです。また、日本人や日本に興味のある学生が参加するJapanese Societyというものにも参加し、そこでも何人か外国人の友達を作り、よく遊んでいました。彼らは大学で日本語を専攻していたので、一緒に図書館に行き、日本語の学習のサポートもしていました。また、日本人の友人とともに日本食をふるまい、交流を深めました。授業以外の時間はなるべく現地の学生と過ごしたことによって、特にリスニングの能力は伸びたと感じます。最初はイギリス人同士の会話を聞いていても、スピードが速くスラングも多いので、話の内容が全く分からなかったが、2か月くらいすると7割くらいは理解できるようになってきたのを実感しとても嬉しかったです。しかし、会話スピードが速いため、ネイティブ同士の会話に入っていくのは難しく、発言できたとしても少ししか話せず、完全に対等な割合で話すことはできませんでした。リスニングにだいぶ慣れて少しずつスピーキングができるようになった頃に帰国だったので残念でした。自分の英語は未熟だったのにも関わらず、たくさんの方が親切に接してくれ、様々な国籍の友達を作ることができたことはとても嬉しかったです。とても有意義な4か月を過ごすことができました。

今後留学する人へのアドバイス

留学先では自分から行動することが大事だと思います。特にStudy Overseas Programmeでは現地の学生と交流することが難しいので、英語を伸ばすには自分で機会をつかみに行くことが必要です。知らない土地で積極的に行動することはなかなか勇気がいることですが、私は自発的に行動して良かったと思っています。なぜなら、その行動によって多くの人に出会うことができ、そのことが4か月間をとても有意義で楽しいものにしてくれたからです。人によっては現地の人と交流する機会を逃していました。一人友達を作ること、その友達が新しい友達を連れてきて輪が広がります。また、英語力に自信が持てないかもしれませんが、ほとんどの人は理解しようとしてくれます。なのでジェスチャーなどを使いながらもコミュニケーションをとるようにすると良いです。UCLanには様々な国籍の人がいるため、それぞれの文化や価値観を学ぶことができます。このような経験も留学ならではの経験だと思います。次に費用についてのアドバイスです。円安と物価高の影響から、物価は日本に比べてかなり高いです。ただ、外食を減らして自炊を行えば出費を減らすことができます。パスタ、パン、ジャガイモなどは日本よりも安いのでおすすめです。また、交通手段として電車を使うことが多いので、すべての電車が割引されるrail cardというものを買うと良いです。費用を抑えるために夜行バスもおすすめです。また、私はクレジットカードのみを持っていき、現地で現金を引き出しました。ほとんどのお店がクレカ対応しているので、現金は少額でいいと思います。最後に治安についてです。治安はもちろん日本のほうが良いですが、大学が位置するプレストンは比較的治安が良い町なのでそこまで心配する必要はないと思います。周りでも何か被害にあったという話は聞いていないので、旅行に行く際も防犯対策や下調べをすれば、安全に過ごせると思います。海外での生活は不安もたくさんあると思いますが、留学をして後悔することは絶対ないので、ぜひ挑戦してみてください。

報告書記入日